学校番号	1202

令和３年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「新編　社会と情報」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・主に基礎的な知識理解と技術の習得を目指します。そして、身につけた知識と技術を用いて、自分で考え、表現する学習を行います。授業は講義形式と実習形式で行い、授業の課題や実習への取り組み状況、実習作品と学期末ごとに行う期末考査で評価します。
・実習では情報機器の操作だけでなく、情報社会に参画する態度について考えるなど、効果的な情報伝達の学習を通じて、友だちを含めた多様な考え方を学び、自分らしい表現につながる学びを深めていきましょう。

２　学習の到達目標

情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するとともに効果的にコミュニケーションを行う能力を培い、情報社会に積極的に参画する態度を身につけることを目標とする。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報の特徴と情報化が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報社会に積極的に参画しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度	・情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、試行を深め、適切に判断し表現する力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力	・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身に付け、効果的にコミュニケーションを行っている	・情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身につけ、情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	・学習状況の観察 ・プリントの記述 ・実習作品 ・発表 ・相互評価・自己評価	・学習状況の観察 ・プリントの記述 ・実習作品 ・発表 ・相互評価・自己評価	・学習状況の観察 ・プリントの記述 ・実習作品 ・発表	・学習状況の観察 ・プリントの記述 ・実習作品 ・相互評価・自己評価 ・定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報を表現する	・情報とは何を意味するか考える。 ・さまざまなメディアの意味と特徴を学ぶ。 ・アナログとディジタルの違い、情報伝達のメディアの種類を知る。 ・インターネットでできることを挙げて、確認してまとめる。 ・ホームポジションなど、タッチタイピングの方法を習得する。 ・電子メールやWebページなどインターネット利用時のサービスについて学ぶ。 ・情報の量の単位、さまざまな記録メディアの容量について知る。 ・2進・10進・16進法について学ぶ。 ・文字コードやフォントについて学ぶ。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:「社会と情報」の学習目標について理解できる。 b: 情報やメディアの意味や特徴を理解できる。 c: タッチタイピングの基礎知識を身につけ、自力で練習ができる。電子メール、WWW などが利用できる。2進・10 進・16 進法の計算、文字コード表の変換ができる。 d: アナログとディジタルの違いについて理解できる。ネットワークでのメディアの役割や、インターネットを活用してできることを理解できる。2進法、情報の量の単位、各記録メディアの容量を計算できる。フォントの特徴が理解できる。	授業観察 資料ノート 実習作品 期末考査

2 学 期	ネットワークを探索する	・インターネットがつながる仕組みを学習する。プロトコルについて学習する。 ・サーバとクライアントの仕組みを学習する。 ・DNS、Web、メール、プロキシなどさまざまなサーバの種類を確認する。 ・WWW のハイパーリンク、HTML、URL、DNS などを学習する。 ・ドメイン名、SMTP、POP や IMAP、Web メールについて学習する。 ・検索エンジンの種類（カテゴリ検索とキーワード検索）と方法を知り、効率よく検索する工夫を考える。 ・メディアリテラシーについて学び、インターネット上の情報の信憑性を考える。 ・対面とインターネット上でのコミュニケーションの違いについて考える。 ・インターネット上で上手にコミュニケーションするための注意点を確認する。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: コミュニケーション手段の発達の変遷を理解できる。匿名性が高い、ログが残るなどインターネット上でのコミュニケーションの特徴や注意点を理解し、上手に活用できる。 b: メディアリテラシーについて理解し、実践できる。 c: 検索エンジンの仕組みを理解し、効率よく検索できる。 d: インターネットでは、TCP/IP というプロトコルが利用されていることを理解できる。IPアドレスやパケット通信の働きが理解できる。クライアントサーバシステムが理解できる。WWW の仕組みや、WWW に関する用語を理解できる。電子メールが届く仕組みや送受信のプロトコルを理解できる。	授業観察 資料ノート 実習作品 期末考査

	情報社会の課題を考える	・インターネットへののめり込みが引き起こす問題について考える。 ・のめり込む理由と抜け出す方法を具体的に考えて生活に生かす。 ・出会い系トラブルの危険性や法律について学習する。 ・個人情報流出事例を確認する。 ・ネットワーク詐欺の種類と対策について学習する。 ・不正アクセス対策の方法と法律について学習する。 ・ネットいじめの事例や仕組み、対策について考え学習する。軽率な投稿が起こす問題を考える。 ・マナーを守って情報機器を扱うことをテーマに CM を作成する。 ・著作権のできた経緯や種類を学習し、著作権は何を保護するのか考える。 ・インターネットトラブルの種類とトラブル回避の対策方法を学習する。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a: 生活時間を見直し、問題点を挙げ、マイルールを作れる。出会い系トラブルや個人情報流出から身を守るための方法を理解し、生活に生かすことができる。 b: インターネット上で攻撃やいじめに注意する自覚や、 軽率な投稿をしない意思を持てる。 c: テーマに沿った CM 動画作品を制作できる。著作物や著作権の種類、保護するものについて理解できる。 d: インターネットにのめり込まないための方法を理解できる。ネットワーク詐欺の種類と対策について理解できる。不正アクセス対策の方法と法律について理解し注意できる。	授業観察 資料ノート 実習作品 期末考査

3 学 期	情報で暮らしが変わる	・データの活用事例について学習する。 ・データを集め、表計算ソフトウェアを活用して、分析を行う。 ・バーチャルリアリティや拡張現実、3D 技術について学習する。 ・IC タグや電子マネーを学習する。 ・eラーニングや情報家電、災害時の情報活用事例について学習する。 ・ユーザインタフェースやユニバーサルデザイン、バリアフリーを学ぶ。 ・高度情報社会を生きる一員として、将来の仕事について業界研究を行う。 ・問題解決の4つのステップを学習する。 ・さまざまな発想法(ブレーンストーミング、KJ 法、マインドマップ)を学習する。 ・結果を集計し、スライドにまとめてプレゼン発表をし、相互評価を行う。	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a: 問題解決のために、情報機器やネットワーク、他者の協力、さまざまな発想法を効果的に活用できる。 b: 誰もが使いやすいように配慮することの重要性を理解する。仕事について、情報機器を活用して調査研究ができる。 c: 後の活用を意識しながらデータを集め、表計算ソフトウェアを用いてデータを分析できる。 d: 日常生活の中で使われている情報システムを理解できる。仮想空間の情報技術について理解できる。流通システムや学習環境、生活環境で使われている情報技術を理解できる。問題解決の4つのステップやさまざまな発想法を理解できる。	授業観察 資料ノート 実習作品 期末考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。